

H29 年度 教科構想シート

音楽科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）		
①情報から必要な情報を選択し、それらを用いて積極的に表現しようとする生徒 ②課題解決のために、協同して取り組もうとする生徒	①情報から必要な情報を選択し、それらを用いて積極的に表現する生徒 ②課題解決のために、協同して取り組む生徒	
教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）		
課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	● 題材全体や各授業における目標につながる課題を見出す場面 ○ 目標を知り学習の見通しを持つ
	【情報の収集】 におけるポイント	● 課題解決に向けて、必要な知識を定着する場面 ○ 知識の習得場面において、繰り返し説明し、課題解決に必要な情報の定着を図る
	【整理・分析】 におけるポイント	● 個人思考をして集団志向をする場面 ○ ワークシートに考えを整理させる
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	● 身に付けたスキルを活用問題で実践する場面 ○ 他の考えをワークシートの書かせる
	【実行】 におけるポイント	● 学習したことを用いて、課題発見して解決する力 ○ 学習により身に付けた力を使うことができる問題を提示する
	【振り返り】 におけるポイント	● 学習前、学習後の学びの変容を振り返る場面 ○ ワークシートに振り返りをさせる
	【協同学習】 におけるポイント	● 小集団活動により、学びを深めさせたい場面 ○ わかる生徒は、積極的にわからない生徒に教えさせる

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)	・めあてに対するまとめを自分の言葉で書かせる	◎
思考力・ 判断力・ 表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・鑑賞の活動で根拠をもって批評するために、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを正しく理解させる。	○
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・自分たちの演奏について、自分なりの感じ方を客観的な理由をあげながら言葉で表す機会をもたせる。	○
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	・音楽に対する批評などを発表し合う活動を設定する。	○
主体的に 学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・自分たちの演奏を客観的に聴いて、よりよい表現をするために取り組ませる	○
他者と かかわる力	①他者と協力（協働）し、課題を解決しようとする力	・自分たちの演奏を客観的に聴き、どうしたらよりよくなるかについて考えさせる。	○
	②他者とのかかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・話し合いの場面を設けて、よりよい音楽表現のための工夫について考えさせる。	○
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・学校行事に向けて、意図や思いを持って表現活動に取り組ませる。	○
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・音や音楽が生活に果たす役割を考えさせて、音と生活や社会との関わりを実感させる。	○
	②自信を持つ力	・一つの音楽をつくっていく体験を通して、協同する喜びを感じたりする指導をする。	◎